

ごみ処理広域化検討特別委員会
委員長 清 水 弘 子

ごみ処理広域化検討特別委員会審査報告書

本特別委員会は、平成 21 年 7 月 24 日に設置され、「平塚市と進めているごみ処理広域化」について審査を行った。その結果は次のとおりである。

1 設置経過

(1) 本特別委員会は、平成 21 年 7 月 24 日の臨時会において、平塚市と進めているごみ処理広域化について審査するために設置された。

(2) 本特別委員会の委員として次の 6 名の委員が選任された。

清水 弘子 鈴木 京子 高橋 英俊 浅輪 いつ子

柴崎 茂 (平成 22 年 11 月 23 日まで)

渡辺 順子 (平成 22 年 9 月 30 日まで)

※ 鈴木 修 (平成 22 年 11 月 28 日から)

2 審査事項

平塚市と進めているごみ処理広域化について

3 審査状況

年月日	会議名等	会議内容等
平成 21 年 8 月 17 日	第 1 回特別委員会	1 正副委員長の互選について 委員長に清水弘子議員、副委員長に浅輪いつ子議員が互選された。 2 今後の進め方について ・ 次回は 9 月に開催し、事前に町から広域のポイントとなる資料の提出を依頼することにした。
9 月 3 日	第 2 回特別委員会	1 ごみ処理広域化の検討について ・ 町からの平塚大磯ごみブロックごみ処理広域化に関する主な経過等の報告後、質疑を行った。

10月7日	第3回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 町からの1市1町ごみ処理広域化推進会議と1市2町ごみ処理広域化検討会の会議結果（以下「1市1町会議結果」という。）や熱回収（焼却）施設規模算定資料等の説明後、質疑を行った。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別委員会は平成23年7月15日の議員の任期まで設置することにした。
11月4日	第4回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 町からの1市1町会議結果、熱回収施設整備・運営経費の試算、ごみ処理広域化と単独処理との経費検討資料及び事務の委託に関する協議の報告後、質疑を行った。
12月4日	第5回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回説明のあった資料について、引き続き質疑を行った。
平成22年 3月19日	第6回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度の会議等の開催状況、（仮称）次期環境事業センター整備・運営事業の契約、大磯町し尿処理施設での平塚市し尿等の受入等及び1市2町ごみ処理広域化に向けての報告後、質疑を行った。
6月21日	第7回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 町からの1市2町ごみ処理広域化推進会議、1市2町ごみ処理広域化検討部会及び平塚市大磯町一般廃棄物処理事務連絡会議の会議結果の報告後、質疑を行った。
8月19日	第8回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 1市2町ごみ処理広域化推進会議結果、(仮称)次期環境事業センター建設事業に係る工事説明会(大神地区)の概要等、平成21年度・20年度ごみ搬入実績比較表及びコンポスター配布数及び電動生ごみ処理機配布(補助)数の推移の報告後、質疑を行った。
10月20日	第9回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1市2町ごみ処理広域化推進会議検討部会の会議結果の報告後、質疑を行った。 「1市2町ごみ処理広域化実施計画」及び「循環型社会形成推進地域計画」にかかる要望をまとめ、1市1町ごみ処理広域化推進会議会長に提出することにした。
平成23年 1月17日	第10回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1市2町ごみ処理広域化推進会議検討部会の会議結果の報告後、質疑を行った。 平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画(骨子案)の報告後、質疑を行った。
5月10日	第11回特別委員会	<p>1 ごみ処理広域化の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1市2町ごみ処理広域化推進会議検討部会の会議結果の報告(平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画(骨子案)パブリックコメント意見集約を含む。)後、質疑を行った。 ごみ処理広域化検討特別委員会の審査を終了し、6月議会定例会において委員長報告することとした。

4 審査結果

神奈川県では、ダイオキシン類の削減対策、ごみの減量化・資源化の推進による循環型社会の構築、ごみの適正処理による環境負荷の軽減、市町村における廃棄物処理施設の用地確保の困難性、ごみ処理経費の増加等のため、平成10年3月に「神奈川県ごみ処理広域化計画」を策定した。この広域化計画に基づき、平塚市と大磯町は、平成18年9月の二宮町のブロック脱退という経過を経て、平成19年12月に「平塚・大磯ブロックごみ処理広域化実施計画」を策定した。

この計画における廃棄物処理の課題と方向性において、平塚・大磯ブロックとしては、可燃ごみの約50%を占める厨芥類、木・竹類について資源化を推進すること、そして、ごみの減量化・資源化を図り、ごみ処理経費の削減に取り組むこととしている。

本委員会では、平塚市と進めているごみ処理広域化について、一般廃棄物処理に係る事務事業の効率化や環境負荷の低減、ごみ処理経費の削減等が図られるよう審査を重ねてきた。

現在、平塚・大磯ブロックで計画している厨芥類資源化施設は、メタン菌の働きにより厨芥類等の有機性廃棄物からバイオガスを取り出す施設であり、熱回収施設を平塚市に配置するため、公平な施設分担の観点から、この施設を大磯町に配置することになっている。また、施設整備については、平成26年度から2ヵ年をかけて行い、平成28年度の稼働を目指すこととなる。

しかしながら、本町に設置を検討する厨芥類資源化施設については、横須賀市においても同種の生ごみバイオガス化施設の導入を検討したものの、横須賀市新ごみ処理施設整備検討委員会において導入是非についての検討が行われ、平成22年8月、横須賀方式の「バイオガス化と焼却を組み合わせた処理」を導入しないことが適切であるとの結論が出されている状況にある。

二宮町が、再度ブロックに加入することを前提として策定する「1市2町ごみ処理広域化実施計画」及び「循環型社会形成推進地域計画」については、ごみ処理経費の削減への取組み等を視野に入れた中で、本町に配置する計画の厨芥類資源化施設の見直し（厨芥類と一般可燃ごみの機械分別方式）等と、1市2町における適正な施設配置、規模、処理方式及び施設運営について継続した検討を行うべきである。

また、当該実施計画等の検討と合わせて、住民の自主的な取組みによる家庭系ごみの排出抑制策について早急に対応することが必要である。

以上の報告により、平成21年7月24日に設置された「ごみ処理広域化検討特別委員会」については審査を終了する。

平成 23 年 6 月 2 日

委員長	清水弘子
副委員長	浅輪いつ子
委員	鈴木京子
〃	高橋英俊
〃	鈴木修